



まち・人・風景をつなぐ「みどりの丘の図書館」
 地域をつなぐ「道」となり まち全体に人の流れと賑わいを生み出す拠点図書館



地域の在り方についての考え方
 香里ヶ丘地区の再生について

まちづくり “みどり”を活かし未来へつながる持続可能な都市

新たな市民層の定住を推進しながら、地区の環境資産といえる“みどり”を活かし、市民が土地の記憶を共有しながら未来につながる“持続可能な都市”を目指します。

現状と課題分析

地区再生の背景と課題

枚方市では市街地の急速な拡大と共に、都市基盤や公共施設が拡散し、拠点的な地区や公共施設の求心力が低下

再生後の目指す姿

香里ヶ丘地区が、現在の良好な住環境を維持し、人々が交流・活動しやすく、魅力ある街として再生するための目標は以下の3点

- ① **まち**: 街のさらなる賑わいの創出
- ② **人**: 子育てしやすいまちづくり
- ③ **風景**: 人と自然との共生

そのための考え方

都市再生機構(UR)との連携により、まちづくりの先行モデル地区として「地域医療福祉拠点化」を推進

- ① **まち**: 拠点の整備
図書館の機能充実による活動拠点化
- ② **人**: 子育て支援
環境改善で地域の子育て機能を充実
- ③ **風景**: 賑わい創出
“みどり”を活かした多世代の交流促進

まちづくり その再生に寄与する中央公園と図書館の一体的な整備
 中央公園と図書館を“みどり”でつなぐ

公園と図書館の機能連携とともに、公園、図書館と地区環境の関わり方を含めて検討します。

一体的な整備のポイント

- ・地区のセントラルパークとしての再整備
- ・北側に接する香里団地保育所の公園利用
- ・公園と図書館をつなぐ“みどり”の有効活用

象徴的な枚方丘陵の現存樹林を活かした再整備を行い、公園と図書館をつなぐ樹林とすると共に、地区再生のシンボルとなる“みどり(自然)との共生”手法を提案します。



成長した樹林は、土地の来歴や地区での生活の記憶をとどめる代表的な風景です。この風景が公園と図書館をつなぐことにより住民に対する求心力を高め、賑わい創出の活動拠点として地区再生に寄与します。

一体的な整備の考え方

- 地区再生**: ・他施設、公園、図書館をつなぐ(拠点化)
・過去・現在・未来をつなぐ(持続的発展)
- 施設計画**: ・異なる世代間をつなぐ(地区の課題解決)
・室内外の環境をつなぐ(敷地の課題解決)
・みどりが人と自然をつなぐ(生物多様性)
- 維持運営**: ・市民の多様なニーズをつなぐ(市民参加)
・行政事業と市民の活動をつなぐ(効率化)

まちづくり 香里ヶ丘中央公園の整備
 セントラルパークの“みどり”で地区創生につなげる公園の新ブランディング「香里ヶ丘モデル」の策定

一体的な整備の考え方、課題等を踏まえ“中央”と名のつく公園として、周辺の公園にはない特徴や取り組みを盛り込み、地区再生に寄与します。
 課題への対策は、単純に物理的バリアを解消するのみでなく、地区再生に求められる新たな公園機能の付与や、図書館との一体的な整備に寄与する内容であることを踏まえ、費用対効果の高い手法を用います。(右表)
 樹林地は「まち・人・風景」をつなぐ大切な要素です。安全な樹林地とする管理を行い、人が積極的に利用するエリア、人と生き物が共生するエリアに区別して活用します。

都市公園法の改正による都市公園の再生・活性化

様々な施設を「公園施設」や「占用物件」と位置付けることを推進し、民間の優良投資(ヒト・モノ・資金・情報)の誘導により利用者サービスの向上を促します。
 これにより公園の有効活用が可能となり、公園と図書館の一体的な検討による魅力的で効果的・効率的な再整備と市民サービスが行いやすい環境が整備されます。

公園の維持・運営管理におけるPPP(官民連携)案

【維持管理＝市民参加、効率化の促進】
 ・公園アダプトプログラム(既存)の積極的な運用
 ・図書館と公園を一体とした指定管理者の導入検討
【設置・管理、占用許可の活用＝利用者サービスの向上】
 ・移動販売車の導入、カフェなどの設置検討
 ・貸出しスペースの提供

現状課題を踏まえた「香里ヶ丘モデル」の具現化

香里ヶ丘中央公園の整備

- ハード面の課題に対する再整備や管理作業
- 出入り口: 彩りやゲート性を加え歓迎感を付与スロープ等によるバリアフリー化
- 駐車場: 公園の団体利用を想定した台数確保
- トイレ: 「だれでもトイレ」の整備
- 旧バラ園: 多目的利用できるフラットな広場化
- 樹林地: 樹木の剪定、下枝払い
 ↓ 陽を林床に届かせ下草を健全化
 ↓ 樹林が適度に粗くなり野鳥が飛来
 ↓ 眺望が開けて新しい魅力が付加
 ↓ 公園内が明るくなり防犯性が向上
 (波及効果)

地域をつなぐネットワークの構築

- 周辺施設との連携、活動を誘発する公園機能
- 遊具広場: 幼稚園・保育園の野外活動
- 遊歩道: 運動器具設置による健康志向の醸成
図書館との接続によるバリアフリー化
- 東屋: 生き物観察
休息場所の提供
- 桜並木: 溜り空間の整備によるお花見スポット
- 周回園路: 多目的運動場外周のジョギングコース
- 広場: 商業施設とのイベント連携